

テーマ：神の御子イエス・キリストがどれほど“遜られた”のかを自分のこととして考える

※ルカ 2:20

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

※マタイ 2:11

「そしてその家に入って、母マリヤとともにおられる幼子を見、ひれ伏して拝んだ。そして、宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。」

●背景：遜ることを求められた全てのクリスチャンたち(5)

※ヨハネ 13:13-15

「あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。」

○遜られた王：“どんなに高い所”から下られたのか？(6)

1) キリストは_____お方(6a)

▷「である方」(現在形の分詞)

※コロサイ 1:17

「御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

※ヨハネ 1:1-2

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初めに神とともにおられた。」

※ヨハネ 1:14

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」

※ヨハネ 8:58

「イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」」

▷「神の御姿」(御姿：ギリシャ語モルフェー)

※ヨハネ 8:59

「すると彼らは石を取ってイエスに投げつけようとした。」

※ヨハネ 10:29-33

「わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。わたしと父とは一つです。」ユダヤ人たちは、イエスを石打ちにしようとして、また石を取り上げた。イエスは彼らに答えられた。「わたしは、父から出た多くの良いわざを、あなたがたに示しました。そのうちのどのわざのために、わたしを石打ちにしようとするのですか。」ユダヤ人たちはイエスに答えた。「良いわざのためにあなたを石打ちにするのではありません。冒涇のためです。あなたは人間でありながら、自分を神とするからです。」

※ヨハネ 17:5

「今は、父よ、みそぼで、わたしを栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ごいっしょにいて持っていましたあの栄光で輝かせてください。」

※ヘブル 1:2-3

「…神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。」

「神の御子がこれほどまでに高いところから降られたのなら、無に等しい私たちが高慢になるのは、あまりにも馬鹿げたことです。」(ジョン・カルヴァン)

2) キリストは_____お方(6b)

「キリストはその性質や栄光の御姿において神でありながら、利己的な行動を取らず、自分の欲しいものを何でも手に入れ、優れた者として扱われることを要求しませんでした。全能の神にとって当然と思われるような行動を取らなかったのです。」(ロバート・バウマン)

※マタイ 26:53

「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今わたしの配下に置いていただくことができないとも思うのですか。」

※マタイ 26:54

「だが、そのようなことをすれば、こうならなければならないと書いてある聖書が、どうして実現されましょう。」